

討議資料

宇田川よしひで

市議会ニュース

vol.26
2010年12月

川口市議会議員

宇田川 好秀

平成21年度川口市

企業会計決算審査特別委員会終わる！

平成22年11月8日に21年度に関わる「企業会計決算審査特別委員会」が開催され、病院事業会計・水道事業会計両決算審査が行われました。（不肖私が委員長として委員会を開催させていただきました）審査結果は、病院事業会計

決算では、決算に対する理事者の説明の後、質疑応答・討論を行い、委員全員の賛同をいただき決算認定する事に決しました。更に水道事業会計決算においては賛成者多数で、決算認定する事に決しました。

平成21年度

川口市病院事業決算報告

① 患者数

平成21年度の医療センターにおける入院患者数は、年間延べ161、521人（1日平均443人）で、前年度比1713人（10％）の減、外来患者数は、年間延べ299、944人（1日平均1、115人）で、前年度比3、040人（1.0％）の増となりました。

また、本町診療所における外来患者数は、年間延べ37、450人（1日平均139人）で、前年度比3、558人（8.7％）の減となりました。

安行診療所につきましては

外来患者数は、年間延べ16、824人（1日平均63人）で、前年度比516人（3.0％）の減となりました。

② 収益的収支

（消費税及び地方消費税抜）

収益的収入における総収益は13、356、114、666円で患者1人1日当たりの診療収入について医療センターは入院50、420円で、外来は9、724円となりました。

本町診療所では外来5、844円、安行診療所では外来5、047円となっています。収益的支出における総費用は14、287、662、813円で、その主なものは給与費、材料費、経費となっています。

この結果、収益的収入と支出の差引額931、548、147円の純損失となりました。

③ 資本的収支

（消費税及び地方消費税込）

資本的収入額は総額257、106、780円、支出額は総額1、026、188、569円となりました。これは、ナースコール設備改修工事等の建設改良工事、また、磁気共鳴断層撮影装置等の医療機器の購入などが主なものです。その収支不足額769、081、789円は、建設改良積立金等で補てんいたしました。



④ 職員に関する事項

損益勘定支弁職員

職 種 別		本年度末 職員数 (人)	前年度末 職員数 (人)	比較 (人)	摘 要
医 療 セ ン タ ー	医 師	86	85	1	名誉院長1、内科14、循環器科8、小児科10、 外科8、脳神経外科3、整形外科5、形成外科2、 産婦人科3、眼科3、耳鼻いんこう科1、皮膚科1、 泌尿器科3、放射線科4、麻酔科5、歯科口腔外科3、 リハビリテーション科1、救命救急センター7、 検査科2、総合健診センター2
	看 護 師	462	436	26	看護師458、准看護師4
	医 療 技 術 員	91	87	4	薬剤師16、放射線技師22、臨床検査技師26、 臨床工学技士6、理学療法士7、作業療法士4、 言語聴覚士2、視能訓練士1、歯科衛生士2、 栄養士5
	事 務 職 員	49	48	1	事務局長1、庶務課16、管理課8、医事課13、 医療情報課6、総合相談室5
	現 業 職 員	12	12	0	看護助手12
	計	700	668	32	
本 町 診 療 所	医 師	2	3	△1	眼科1、小児科1
	看 護 師	4	4	0	看護師3、准看護師1
	医 療 技 術 員	1	1	0	臨床検査技師1
	事 務 職 員	1	1	0	
	計	8	9	△1	
安 行 診 療 所	医 師	1	0	1	内科1
	看 護 師	2	2	0	看護師2
	計	3	2	1	
合 計		711	679	32	

※病院事業管理者、非常勤職員及び再任用職員は含まず

医療センター決算認定の件

医療センターの決算の概要は、減価償却前では、約3億3,000万円のマイナス。建物、医療機器等の減価償却額約6億円を加えると、決算上は約9億3,000万円のマイナス。

マイナスの原因となる要因の一つには、平成14年度から診療報酬のマイナス改定が続き、平成21年度は、平成14年度と比べて約8%のマイナス。医療センターの収入額で、約7億円から8億円の影響額があったものと分析している。

参考までに

全国の自治体病院の赤字の共通の要因の一つに減価償却費が上げられる。病院が建てられた当時の建築費と最新の医療機器の買い替えから生じる減価償却が決算時点で大きな負担になっており、決算が赤字になってしまうケースが多い。

国の考え方

厚生労働省の考え方は、救急・小児・産科を含めた周産期センターなど、いわゆる診療上の不採算となる部門は基本的に各自治体病院で実施して、その不足額は各自治体で負担する。

総務省の考え方は、自治体病院の赤字の解消を問題にしており、「公立病院改革ガイドライン」に基づき、「経営の効率化」を最優先に病院改革を進めるように指導を受けている。

川口市の対応

《事務局長》

平成22年度の医療センターの運営につきましては、全職員の意識改革をはじめ改善できることはやっていく。例えば、救急患者を断らないということをもっと、従来、月に350台の救急車を400から450台受け入れ患者

サービスの充実に努めている。平成22年度の決算委員会には、少しでも明るい内容を報告できればと現在努力している。

《宇田川コメント》

小児科・産科・救命救急センター（埼玉県下に高度救命救急センターを含め7つ有り）の不採算部門を自治体病院として運営しており、職員の改革に向けた努力を認めたい。

さらに、自治体病院である医療センターを運営する上で、病院の基本理念である「市民に信頼され安全で質の高い医療を提供すること」と、経営の効率化を求められていること、若干の矛盾を感じている。

しかしながら、引き続き経営面においては赤字経営を縮小させる最大限の努力をして頂き、市民に信頼される地域の中核病院として期待したい。



川口市の財政状況

(平成22年11月)

①経常収支比率（「人件費・扶助費・公債費」等の経常経費に地方税等の一般財源がどの程度充当されているかを示す数値で、概ね70～80%が妥当とされている。）

↓川口市 平成21年度90.5%と弾力性が極めて失われている。（原因：歳入で市税が減少する中、歳出で扶助費の伸びが止まらないため）

②市債残高

平成21年度末で一般会計約1,052億円・特別会計593億円・企業会計357億円、土地開発公社の長期借入金残高495億円、市全体で2,497億円の借入残高（将来の償還利子を含まない）があり、平成21年度市税収入約805億円の3.1倍に当たる。

③平成23年度予算編成について 平成23年度当初予算編成をするには財源不足を補う

ため、財政調整基金つまり一般家庭で言う貯金に当たるものから繰り入れが必要となる。（平成22年度は財政調整基金から一般会計に39億7千万円の繰り入れを行った上で予算編成しており厳しい財政運営を余儀なくされている）

※平成22年度は5年ぶりに普通交付税の交付団体となり、財政調整基金残高も今年度末で約76億円（平成15年度末には100億円）となっており、ります。

※平成23年度当初予算編成をするには財源の不足が生じる為、財政調整基金から平成22年度以上に一般会計に繰り入れを行わないと予算編成ができないと予測しております。



FAX送信用紙

宇田川よしひで宛 FAX.048-296-7070

市政全般について、あなたのご意見をお待ちしております

フリガナ			
お名前			
ご住所	(〒 -)		
ご連絡先	電話番号		FAX
	携帯電話		Eメール



宇田川レポート更新中!!

宇田川よしひで

検索



**活動情報を掲載!
ブログも随時更新!**

編集発行

川口市議会議員

宇田川 好秀

埼玉県川口市安行1117

**TEL.048-294-3131
FAX.048-296-7070**

印刷/コスモプリンツ株式会社

**市政情報
発信**



川口市議会議員 Udagawa Yoshihide Official Web Site

宇田川 好秀

皆様の手足となって働くをモットーに!

街はみんなでつくるもの
市民の皆様とともに

プロフィール
宇田川レポート
リンク

〒334-0059
埼玉県川口市安行1117
TEL.048-294-3131 (直通)
FAX.048-296-7070
E-mail: uda3344@yahoo.co.jp

宇田川よしひでのブログ

宇田川ファミリー公園中

自由民主党川口支部
政経ハーディー
人とまちを元気に
～地方行政と議会の発展～
対話と責任 2008

<http://y-udagawa.jp/>